

局長公開安全パトロールを実施しました

令和元年6月25日（火）、「死亡災害撲滅のための緊急対策」として、仙台市青葉区内のマンション新築工事において、代田雅彦局長による局長公開安全パトロールを実施しました。



宮城県内では、今年4月と5月の死亡災害が合計6件と、過去10年で最悪の状況であることを踏まえ、6月17日～7月31日を「死亡災害撲滅のための緊急対策」期間として各種対策を積極的に行っています。

局長公開安全パトロールは、その取組の一環として実施したもので、宮城労働局のほか、仙台労働基準監督署及び建設業労働災害防止協会宮城県支部が参加しました。



実施した工事現場は、(株)大林組東北支店が施工する「堤通雨宮町Ⅳ計画新築工事」であり、旧東北大学農学部の跡地のマンション新築工事です。

初めに、(株)大林組から安全衛生管理の取組状況について説明を受けた後、現場内を高所作業からの墜落防止措置、移動式クレーンの運転資格、機械設備の安全装置の有効保持などを重点的にパトロールしたほか、休憩施設、熱中症予防対策など健康確保対策の取組状況を確認しました。



その後の講評で、代田局長からは「建設業の担い手不足を解消するには、若者にとって魅力的な職場となることが大事で、そのための『働き方改革』と『やりがいのある職場づくり』の双方の実現をお願いしたい。」旨の要請を行いました。

